

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公開番号】特開2009-188598(P2009-188598A)

【公開日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2009-033

【出願番号】特願2008-24937(P2008-24937)

【国際特許分類】

H 03 L 7/26 (2006.01)

H 01 S 5/022 (2006.01)

H 01 L 31/02 (2006.01)

【F I】

H 03 L 7/26

H 01 S 5/022

H 01 L 31/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月19日(2011.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

共鳴光による量子干渉効果を利用した原子発振器であって、

前記共鳴光を出射する光源と、

前記共鳴光が入射されガス状のアルカリ金属原子が封入されたガスセルと、

該ガスセルを通過した前記共鳴光を検出する光検出手段と、を備え、

前記光源が端面発光型のレーザダイオードであることを特徴とする原子発振器。

【請求項2】

前記光源と前記ガスセルと前記光検出手段とを搭載する基板と、

前記共鳴光の出射方向が前記基板の面方向に沿った構成と、

前記光源の出射面と前記光検出手段の受光面とが前記ガスセルを介して対向する構成と、を備えたことを特徴とする請求項1に記載の原子発振器。

【請求項3】

前記光検出手段が導波路型受光素子であることを特徴とする請求項2に記載の原子発振器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】原子発振器